

令和 5 年 8 月 17 日

御代田町長 小園 拓志 様

御代田町議会

議長 五味 高明

(所管：総務福祉文教常任委員会)

## 公共交通に関する要望書

町の公共交通は、しなの鉄道と佐久御代田線のバスのみとなっています。町ではそれを補完するため高齢者や障がい者、妊婦及び乳児を育てる保護者にはタクシー利用助成制度で支援していますが、公共交通が充実しているとは言えないのが現状です。

このような状況を鑑みて、総務福祉文教常任委員会では「公共交通」を所管事務調査項目に選定し、令和 4 年 4 月より調査研究を進めてきました。また、先進地事例を参考とするため、佐久市・小諸市・軽井沢町・茅野市を視察し見聞を深めてきました。

公共交通を討議するなかで、生活圏が町内で完結しないことから、佐久市・小諸市・軽井沢町への移動方法の確保が重要なこと。また、完全な車社会であることから、運転のできる現役世代への公共交通施策の優先度は低く、学生・高齢者等の運転のできない世代への施策が重要なこととの認識に至りました。

抜本的には広く町民の声を聞き、今後の環境を考慮した公共交通施策を検討するためには協議会の設置は必須であり、協議会を開催することに期待をしますが、時間がかかることでもあるため、それまでの措置として議会の立場から下記のとおり要望します。

### 記

#### 要望 1 タクシー券の拡充

- (1) 佐久市への通院を月 1 回としても現状の倍の枚数が必要であるから、枚数の増や上限の撤廃を検討すること。
- (2) 対象年齢の引き下げ、障がい者、免許返納者への対象者の拡大をするととも

に、家庭の事情や病気、けがなどの個々の事情への配慮も検討すること。

(3) 窓口での購入のみだと購入のハードルも高いことから、代理人購入の柔軟化、タクシー車内での購入など、購入方法の簡素化を検討すること。

(4) 必要としている方へ情報が届いていないことも考えられるため、タクシー券及び、乗り合い使用できることを、タクシー車内や各戸へのチラシ配布を実施するなど、さらなる周知を検討すること。

## **要望2 隣接自治体への移動手段の確保**

(1) 佐久方面への移動手段として、最低限佐久御代田線のバスの確保は続け、佐久市との協議のもと、乗り合いも踏まえて、町民が佐久市へ移動する手段を保てるよう検討すること。

## **要望3 デマンド交通について**

(1) 町単独事業として実施するには費用が嵩むことから、地域性を考慮して、タクシー利用助成券ありきで考え、それを補完する安価なデマンド交通があれば併用することも選択肢に入れて中長期的な検討をすること。

## **要望4 運転手の雇用促進について**

(1) タクシー会社の人員不足、バス運転手不足など、公共交通を支える人員不足は今後一層課題となってくることから、雇用促進のための支援を検討すること。